

2 三 谷 地 区

本年度の三谷地区青少年健全育成協議会のテーマを「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」とし、防災意識を高める地域ふれあい活動に加え、日常的に行うあいさつ運動や防犯を意識した活動に取り組んだ。

1 健全育成協議会の準備会

- (1) 日 時 平成26年5月10日(土) 13時30分～15時00分
- (2) 場 所 三谷公民館
- (3) 参加者 各区総代、地域補導員、主任児童委員、三谷祭保存会長、民生委員、小中学校PTA役員、子ども会役員、学校関係者

2 青少年健全育成協議会

- (1) 日 時 平成26年6月1日(日)
9時00分～10時30分

※本年度も、三谷中の部活動・授業参観日に協議会を設定した。保護者以外の地域の方にも生徒たちの様子を実際に見てもらえ、好評だった。

- (2) 場 所 三谷中学校 体育館
- (3) 参加者 各区総代、市議会議員、民生委員、主任児童委員、地域補導員、少年補導委員、保護司、公民館長、高砂会、更生保護女性会委員、各区保存会長、三谷祭保存会会長、小中学校PTA役員、PTA実行委員、子ども会役員、交通指導員、保育園園長、小中高等学校関係者、児童館長

[来賓] 蒲郡市青少年センター所長 清水孝夫氏
蒲郡警察署生活安全課長 岡野典康氏

- (4) 内 容

市民憲章唱和 (三谷中学校PTA副会長 安達日保子氏)

- ① 開会のことば (総代会副会長 鈴木佳昭氏)
- ② 三谷地区青少年健全育成協議会規約および役員の承認
会長 「北区総代 伊藤政志氏」 を承認

- ③ あいさつ

- 三谷地区青少年健全育成協議会会長 伊藤政志氏
- 蒲郡市青少年センター所長 清水孝夫氏
- 蒲郡警察署生活安全課長 岡野典康氏
- 学校代表 三谷中学校長 高橋茂氏
- ④ 地域補導員の紹介と活動 地域補導員班長 小田洸次氏



⑤ 本年度の活動

○テーマとねらい

<p>テーマ 「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」</p> <p>重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域・学校・関係諸機関の連携を密にして、地域ぐるみで三谷地区の青少年を見守り、育てる活動を推進する。 ・地域ふれあい活動を通して、地域の教育力を高める。 ・あいさつ運動や日常の声かけ活動を通して、青少年の健全育成と明るい地域社会を築く。
--	--

○ 活動計画

- ・あいさつ運動、防犯パトロールの日常からの展開
- ・ふれあい活動の準備会・・・6月より地区ごとに開催
- ・地域ふれあい活動・・・・・・9月～11月に内容を工夫して実施

⑥ 各区分科会と全体報告

⑦ 閉会のことば （主任児童委員 松永淳子氏）

あいさつ運動では、本年度もPTAの役員さんを中心に学校単位で計画される計16回の活動に加え、あいさつを通して日常的に子どもたちとふれあっていくため、大人から地域の子どもたちにあいさつをする活動に取り組んだ。

防犯パトロールも日常生活の中で、意識して地域と子どもたちの様子に目を向けていけるように取り組んだ。あいさつ運動同様、今後も全体に周知していく必要があるが、「いつも、みんな」子どもたちを見守っていく姿勢を大切にしていきたい。

今年のふれあい活動は、東、松、上区が三区合同で取り組み、またその他の区もしっかりと打ち合わせを重ねて本番を迎えた。どの区も訓練や講話、クイズなどで防災の意識を高めつつ、工夫された取り組みを通して、子どもからお年寄りまで年齢を超えたふれあいがみられた。



3 ふれあい活動の計画と実際

区	日時	場所	活動内容
東 松 上	9/7(日) 8:30～	三谷東小学校	起震車、避難所開設訓練、消火訓練、防災炊飯等
西	9/21(日) 9:00～	神明神社	防災訓練、炊き出し、起震車体験等
北	11/16(日) 8:30～	三谷小学校	防災訓練、防災マップ作り、紙飛行機大会
中	11/30(日) 8:30～	三谷小学校	防災DVD、紙飛行機大会、炊き出し等

東・松・上 区

9月7日(日) 8:30~11:30

【会場】三谷東小学校【参加人数】約920人

【テーマ】防災訓練とふれあい活動

今年市は市の防災訓練と連動し三区合同で行った。防災訓練は、常会ごとの避難場所に集まり、その後三谷東小学校に集合して、避難者カード作成、初期消火体験、煙道体験、非常食を用いた炊き出し訓練と試食を行った。

また、起震車を借り、地震の強烈な揺れを実際に体験してもらった。三区合同ということで大人数による大規模なふれあい活動となったが、より実際に被災した際の規模に近い人数での訓練となり、意義深いものとなった。



- ・今年三谷東小学校で三区合同のふれあい活動をしました。まずは非常食を試食しました。本当の非常の時のことを考えると少しの食料でも大切にしないといけないと思いました。いちばん大切な体験ができたのは地震が体験できる車でした。私たちは4人で乗って、中学生二人は立って体験しました。座っている人より揺れて怖かったです。三区合同のふれあい活動は初めてでした。三区合同をやったことで本当に災害が起きたときに協力できるんじゃないかと思いました。

西 区

9月21日(日) 9:00~12:00

【会場】神明神社 【参加人数】約350人

【テーマ】防災訓練とふれあい活動

ビニール袋を利用したサバイバル炊飯と起震車を使って子どもたちを中心に地震の強烈な揺れを実際に体験してもらった。そのほかにも防災ビデオで震災、津波などの際にどうすればいいのか、家庭での地震対策を学んだ。途中、防災の〇×クイズを実施し、理解を深めた。ふれあい活動は、屋台の運営を中学生が担当し、かき氷、ポップコーンをふるまった。好天の下、どちらの屋台も好評だった。



- ・ふれあい活動に参加して、もし津波が来たときどんな行動を取ればいいのか、ここまで津波が来ないと思っていてもなるべく上の方へ逃げないといけないということがあらためて分かりました。その他にもごはんを作って食べたり、地震を実際に体験したりすることができました。今回私はふれあい活動でたくさんことを学びました。今後はもし津波などが来て、家族と離れた場合に連絡を取らなくてもいいようにどこに集まるか決めておこうと思います。

北 区

11月16日(日) 8:30~11:30

【会 場】三谷小学校 【参加人数】約250人

【テーマ】防災訓練とふれあい活動

防災訓練では、常会ごとに集合し、避難経路と危険箇所を確認しながら、三谷小学校まで徒歩で移動した。次に、地震の際にどうすればいいのか防災DVDを視聴した。現実味を帯びた内容に小さい子からお年寄りまで見入っていた。その後、常会ごとに教室に分かれ、防災マップ作りや各家庭でどのような地震対策をしているかを話し合った。

ふれあい活動では、紙飛行機飛ばし大会を中学生が中心となり、子どもから大人まで、みんなでふれあいながら楽しんだ。



- ・私はふれあい活動で地震はいつ来てもおかしくないということ、自分の区の危険な場所などを知ることができました。映像を見て、その後に常会ごとに集まって話し合いをしました。いろいろな方の意見を聞いたりしてとても参考になりました。私の常会の人の中に実際に地震を体験した人がいて、そのときのお話を聞くことができました。紙飛行機大会もやって小さい子どもからお年寄りまでたくさんの方が参加してくれたのでよかったです。

中 区

11月30日(日) 8:30~11:30

【会 場】三谷小学校 【参加人数】約160人

【テーマ】防災訓練・炊き出しとふれあい活動

避難経路確認のため、常会ごとの集合場所から三谷小へ移動した。避難所開設用の簡易トイレを設営するとともに、ビニール袋を用いての炊き出し訓練を行った。体育館の中では、地震、津波の際にどうすればいいののかの防災DVDを視聴した。また、AEDの使用方法についても確認をした。ふれあい活動では、恒例の紙飛行機飛ばし大会やじゃんけん大会、そしてメタボリック症候群予防のためのリズムダンス体操で小中学生や地域の人が二人組になって行い、教えあったり、手を取ってふれあったりと笑顔あふれる活動となった。



- ・体操のとき、二人組になるところで地域の人たちと組んでたくさんふれあうことができました。じゃんけん大会や紙飛行機大会も盛り上がり、盛り上がるころはみんなで盛り上がっていたし、災害についてのビデオを見て、地震のことをあらためて意識できたし、AEDの使い方も学ぶことができたのですごくいい会になったと思います。